

資料提供年月日	令和2年1月21日	
問い合わせ先	課名	文化振興課
	電話	直通 803-1054 内線 3743
	担当 (職・氏名)	課長 佐藤 副主幹 上林 主事 山根

広報連絡 〈市長定例記者会見資料〉

- 1 件 名 第35回「坪田譲治文学賞」の受賞作決定について
- 2 趣 旨 岡山市出身でわが国の児童文学に多大な功績をのこした故・坪田譲治氏（岡山市名誉市民）をたたえる「坪田譲治文学賞」の本年度の受賞作決定について発表します。
- 3 受賞作 『あららのはたけ』 偕成社
村中 李衣（むらなか りえ）著
- 4 選考経過 平成30年9月1日から令和元年8月31日までの1年間に、全国で刊行された小説・児童文学等の中から、小説家・児童文学者等から推薦された93作品について、予備選考会を経て候補作5作品を選定しました。
これらを令和2年1月14日（火）開催の選考委員会において審査し、上記の作品が選ばれました。
- 5 贈呈式・記念行事
○日 時：令和2年3月1日（日）14：00～16：00
○場 所：岡山市立市民文化ホール（中区小橋町一丁目1-30）
- 6 問い合わせ先
岡山市文学賞運営委員会事務局
〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1 岡山市文化振興課内
TEL：086-803-1054 FAX：086-803-1763
E-mail：bunkashinkou@city.okayama.lg.jp

[添付資料]

- 資料1 第35回「坪田譲治文学賞」受賞作について
- 資料2 「坪田譲治文学賞」について
- 資料3 「坪田譲治文学賞」受賞作一覧
- 補足資料 取材について

第35回「坪田譲治文学賞」受賞作について

(文中敬称略、50音順)

受賞作 『あららのはたけ』 偕成社
受賞者 村中 李衣 (むらなか りえ)
正賞 賞状及び記念品 (メダル『鳥の少年』蛭田二郎作)
副賞 100万円

◆選考経過

平成30年9月1日から令和元年8月31日までの1年間(※)に全国で刊行された小説、児童文学等の中から、小説家・児童文学者等から推薦された93作品について、「大人も子どもも共有できる世界を描いたすぐれた作品」という観点で、予備選考会を経て候補作5作品を選定。

これを、令和2年1月14日(火)開催の第35回坪田譲治文学賞選考委員会(会場：東京都千代田区平河町「ルポール麹町」)で慎重に審査した結果、村中 李衣著『あららのはたけ』が選ばれた。

選考委員は、阿川佐和子、五木寛之、川村湊、中脇初枝、西本鶏介、森詠、森絵都の7名。

※選考の基準日は9月1日(岡山市文学賞条例施行規則第2条)

◆受賞者略歴

作家 村中 李衣 (むらなか・りえ)

1958年山口県生まれ。作家。ノートルダム清心女子大学児童学科教授。おもな著書に『小さいベッド』『おねいちゃん』『チャーシューの月』『かあさんのしっぽっぽ』『いつか、太陽の船』『こくん』など多数。

◆受賞者コメント

縁あってこの岡山の地で教鞭をとるようになり、様々な場所でさまざまな機会に坪田譲治先生の柔らかかで繊細なまなざしをもらい受けていることを実感しています。そんな日々をもっともっと大事にしてください、そして子どもたちの未来の時間に繋げていく働きをくださいという<風の中の声>がどこからか聞こえてくるようです。この賞に関わる全ての皆様に心よりお礼申し上げます。

◆作品の概要

横浜から山口に引っ越すことになった、小学4年生のえり。ある日、じいちゃんのすすめで、じぶんだけのちいさな畑をはじめることになりました。

そこで出会ったのは、ふまれても飄々と生きる雑草たちや、ももの木のうえから細かな毛を飛ばしてくる〈もものけむし〉、台風の前への巣づくりで手ぬきをするクモ……都会から地方にやってきた少女の、みずみずしい視点でとらえた自然のすがたを手紙にして、横浜にくらす親友のエミへ送ります。

畑で見聞きしたこと、あたらしい生活のことに加えて、手紙の内容は、横浜の小学校で不登校になってしまった、ふたりの幼なじみ・けんちゃんのこと。部屋にこもってしまったけんちゃんに、ふたりができることとは……。

ふたりの少女の手紙のやりとりをとおして、自然のふしぎと、いじめをとりまく子どもたちの心の動きを繊細に描いた作品です。

◆選考委員のコメント 森 絵都（小説家）

山口県へ引っ越したりえと、横浜にいるエミ。小学四年生ふたりの往復書簡という形で綴られた『あららのはたけ』は、読者の心に栄養を送りこんでくれる滋養強壯童話だ。頁をめくるたびに土の匂いがする。そこには自然界の不思議があり、植物たちのしなやかな強さがあり、少女たちの好奇心の輝きがある。読者の子どもたちもまた二人とともに驚き、ときめき、そして読了後は天を仰いでこう思うだろう。いろいろあっても、大丈夫！

◆【参考】今後の日程

- 贈呈式・記念行事 令和2年3月1日（日）14時～16時
〔岡山〕岡山市立市民文化ホール
- 祝賀会 令和2年3月18日（水）18時30分～20時
〔東京〕ホテルルポール麹町

「坪田譲治文学賞」について

(文中敬称略、50音順)

岡山市出身で、わが国の児童文学に新しい分野を拓いた坪田譲治のすぐれた業績を称えると共に、市民の創作活動を奨励し、市民文化の向上に資することを目的として、昭和59年12月に「坪田譲治文学賞」を制定しました。

◆坪田譲治文学賞

[目 的] 岡山市出身の小説家・児童文学作家で、岡山市名誉市民の坪田譲治の文学活動における偉大な業績を称えるとともに、市民の創作活動を奨励し、市民文化の向上に資する。

※坪田譲治 (つぼた じょうじ)

明治23年(1890年)3月3日生～昭和57年(1982年)7月7日没

[対 象] 9月1日を基準日とし、前1年間に刊行された文学作品(小説、児童文学等)。

[選 考] 文学・出版関係者等から推薦された作品について、「大人も子どもも共有できる世界を描いたすぐれた作品」という観点で、予備選考会を経て候補作4～6作品程度を選定。その中から選考委員が最終選考を行い、受賞作を選定する。

[表 彰] 正賞 賞状及び記念品(メダル『鳥の少年』蛭田二郎作)

副賞 賞金100万円

[選考委員] 阿川佐和子、五木寛之、川村湊、中脇初枝、西本鶏介、森詠、森絵都(7名)

「坪田譲治文学賞」受賞作一覧

回次	年度	作品名	著者名	出版社名
第1回	S60	心映えの記	太田 治子	中央公論社
第2回	S61	ふたつの家のちえ子	今村 葦子	評論社
第3回	S62	ぼくのお姉さん	丘 修三	偕成社
第4回	S63	四万十川ーあつよしの夏	笹山 久三	河出書房新社
第5回	H1	身がわりー母・有吉佐和子との日日	有吉 玉青	新潮社
第6回	H2	おどる牛	川重 茂子	文研出版
第7回	H3	こうばしい日々	江國 香織	あかね書房
第8回	H4	卵洗い	立松 和平	講談社
第9回	H5	半分のふるさとー私が日本にいたときのこと	李 相琴	福音館書店
第10回	H6	オサムの朝	森 詠	集英社
第11回	H7	泣けない魚たち	阿部 夏丸	ブロンズ新社
第12回	H8	ぼくたちの<日露>戦争	渡辺 毅	呂書林
第13回	H9	ぼくはきみのおにいさん	角田 光代	河出書房新社
第14回	H10	ナイフ	重松 清	新潮社
第15回	H11	ウメ子	阿川 佐和子	小学館
第16回	H12	ニライカナイの空で	上野 哲也	講談社
第17回	H13	翼はいつまでも	川上 健一	集英社
第18回	H14	麦ふみクーツェ	いしいしんじ	理論社
第19回	H15	人形の旅立ち	長谷川摂子	福音館書店
第20回	H16	ペーターという名のオオカミ	那須田 淳	小峰書店
第21回	H17	ぎぶそん	伊藤 たかみ	ポプラ社
第22回	H18	空をつかむまで	関口 尚	集英社
第23回	H19	しずかな日々	椰月 美智子	講談社
第24回	H20	戸村飯店青春100連発	瀬尾 まいこ	理論社
第25回	H21	トーキョー・クロスロード	濱野 京子	ポプラ社
第26回	H22	おれのおばさん	佐川 光晴	集英社
第27回	H23	鉄のしぶきがはねる	まはら 三桃	講談社
第28回	H24	きみはいい子	中脇 初枝	ポプラ社
第29回	H25	世界地図の下書き	朝井 リョウ	集英社
第30回	H26	クリオネのしっぽ	長崎 夏海	講談社
第31回	H27	いと森の家	東 直子	ポプラ社
第32回	H28	Masato	岩城 けい	集英社
第33回	H29	キジムナーkids	上原 正三	現代書館
第34回	H30	ペンギンは空を見上げる	八重野 統摩	東京創元社
第35回	R1	あららのはたけ	村中 李衣	偕成社

●受賞者への取材について

電話取材を希望される場合は、株式会社偕成社または受賞者様本人へご連絡ください。

◆連絡先

株式会社偕成社 丸本（まるもと） 様
電話 03-3260-3229

受賞者 村中 李衣（むらなか りえ） 様
電話 090-7594-5725

●書籍について

書籍が必要な場合、文化振興課（上林・山根）までお問い合わせください。

●受賞者の写真、書影について

受賞者の写真、書影データが必要な場合、文化振興課（上林・山根）までお問い合わせください。